

新規就農先輩の軌跡 No.27

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
 <p>氏名：田中創吉（たなかそうきち） 住所：三木市本町 （圃場：神戸市西区神出町） 年齢：28歳</p>	<p>農地：44a 施設：ビニールハウス10a 経営内容： ・ビニールハウス：半促成トマト、抑制トマト、いちご、軟弱野菜 ・露地：なす、ピーマン等 労働力：本人、父、母 出荷先：地元商店街、JA直売所</p>  <div data-bbox="1197 750 1380 817" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                 パイプハウスと本人             </div>
就農から現在まで	就農で良かった点、苦労した点
<p>2008年 岡山大学大学院博士課程中退 2008～2010年 兵庫楽農センター就農コースで2年間研修 2010年 44a土地の賃貸契約にて就農、ハウス建設 2011年 44a土地購入、ハウス増設 2011年 現在に至る</p>	<p>○良かった点 自分で考えて、色々試行錯誤できること 優しくて親切な人と多く知り合うことができ農業についてのアドバイスをいただけること</p> <p>○苦労した点 元々、農家でなかったため、圃場整備、ハウスの建設、野菜の栽培を一から学んでいったこと</p>
農業をめざした動機	後輩へ贈る言葉
<p>農業をやるまでは、テレビでやっているスローライフといった印象を持っていた。しかし実際にやってみると全然違うものだったが、小さな種から自分より大きな植物に成長していくことに驚きがあったり、自分のしたことに対する野菜の反応が見えたりと楽しみがたくさんあったから。</p>	<p>・アドバイスをいただける先輩農家さんを見つける。 ・しっかりあいさつをして、地域にとけ込めるように努力する。</p>